

感染症週報

令和8年11月9日発行



小笠原での流行状況

第45週（ 11月2日 から 11月8日まで ）

父島　特別な感染症の報告はありませんでした。

母島　特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

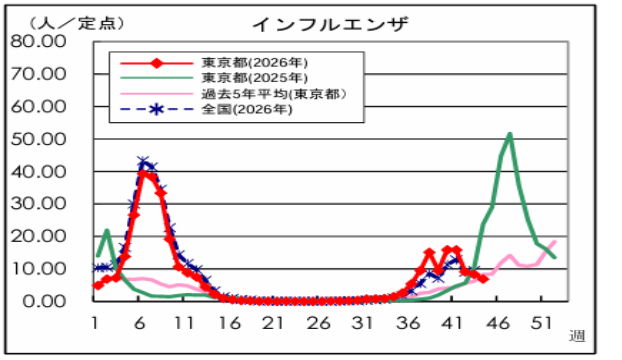
※　５例以上発生時に実数報告としています

第44週（10月26日～11月1日）

【今週の注目される定点把握対象疾患】

・**インフルエンザ**の定点当たり報告数は6.91で、前週より減少しています。





マイコプラズマ肺炎

学童期の子どもや若い人に多く、長く続くせきが特徴です。

感染経路

主に、感染した人のせきやくしゃみでうつります。

飛まつ感染

感染した人のせきやくしゃみで出るしぶきを吸い込むことでうつります。



接触感染

ドアノブ・手すり・机などについたしぶきに触れた手で、口や鼻を触ることでうつります。



学校や職場、家庭など身近な場所で広がることがあります。

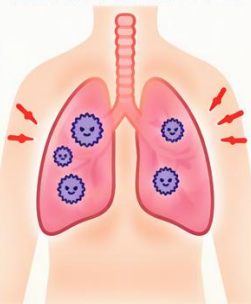


原因となる菌

マイコプラズマ・ニューモニエ
(Mycoplasma pneumoniae)



鼻やのどから体内に入り、気道や肺に炎症を起こします。



主な症状

かぜに似た症状で始まり、特に「長く続くせき」が特徴です。



長く続くせき
(3週間以上続くこともあります)

発熱
(37~38℃程度が多い)



のどの痛み



全身のだるさ
(倦怠感)



頭痛



鼻水・鼻づまり
(少ないことが多い)



胸の痛み
(呼吸時に痛むことも)



せきが長引くときは、早めに医療機関を受診しましょう。

※正確な診断と適切な治療のために、医師の診察を受けることが大切です。

手洗い・マスク・せきエチケットで感染を防ぎましょう。



※生成AIにより作成



習慣にしよう！　感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所